

# はねっと 7

## 仙台市市民活動サポートセンター通信 ぱれっと

“ぱれっと”には、仙台市市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。



一步踏み出す気持ち芽生える「ワクワクビト」

### 踊って、笑って、 地域の人も元気に！

どじょう<sup>すく</sup>掬い踊りを楽しむ会 代表

齋藤<sup>さいとう</sup> 政昭<sup>まさあき</sup>さん(69)

「いくつになってもチャレンジする姿を、観客に見てほしい」。そう話すのは、「東北どじょっこ祭り」発起人の齋藤さんです。「どじょう掬い踊りを楽しむ会」をはじめ、地域の団体が踊りや演奏を披露するこの祭りは、2009年から毎年、仙台市内のホールで開催されています。今年は4歳から92歳まで80人が出演しました。出演者の多くは、齋藤さんと同年代か、それ以上の人たちです。思うように体が動かなかったり、振り付けを間違えたりすることがあっても、それぞれのペースで踊りを楽しむ出演者たちの姿は、会場を大いに盛り上げ、観客に笑顔と勇気を届けています。齋藤さんは、「子どもの健全育成の場と、老若男女、見る人もやる人も元気になる場になれば、それが一番。大げさだけど、そんな感じですよ」と、微笑みます。

どじょう掬い踊りとの出会いは、地元・仙台を離れて東京へ単身赴任をしていた30代の頃。友人に誘われるまま踊ってみると、ひょうきんな踊りの中にも奥深さがあり、所作を磨くほど表情が変わる面白さに惹かれていきました。やがて、練習用のザルをボストンバッグに入れて通勤するほど夢中になり、いつしか人生の大きな楽しみになっていました。数年後、仙台に



戻った齋藤さんは、どじょう掬い踊りを、地域の人たちの楽しみや交流にもつなげてもらおうと、「どじょう掬い踊りを楽しむ会」を設立。「元気な老人っていうかね、私もその一人なんだけど。みんなを笑わせられると、私もうれしい。今が人生で一番充実している」と話します。知らなかったこと・興味を持ったことに一步踏み出して生まれた楽しみは、今も多くの人を輪の中に迎え入れながら、広がり続けています。

#### 「どじょう掬い踊り」とは

島根県安来市で親しまれている伝統的な踊りです。野良着姿に手ぬぐいをかぶり、一文銭を鼻に当てた姿で、どじょうを掬う時の動作などを真似ながら、ユーモラスに踊ります。



▲約600人の観客からそれぞれの挑戦に大きな拍手が送られたフィナーレの様子

どじょう掬い踊りを楽しむ会

HP▶





## 市民活動団体を紹介「市民活動突撃レポート！」

### 文化の違いを越えて、人と人がつながる場をつくりたい

一般社団法人国際交流倶楽部仙台ランチは、年に6回程度、仙台市内で異文化体験教室「仙台国際交流クラブ」を開催しています。県内に暮らす外国人に日本文化に触れる機会を提供したいという思いから、日本文化体験教室として活動をスタート。その後、参加者からの「自国の文化についても発信したい」という声に応え、現在はウクライナや中国など、様々な国の文化体験教室も開くようになりました。毎回10人前後が参加しています。

責任者の佐藤弘康さとうひろやすさんが活動を始めたのは2020年。当時、日本と近隣の国との関係が不安定になるなど、国際情勢の影響が日本国内に広がっていました。国籍や立場に関係なく、個人同士が直接交流できる場の必要性を感じた佐藤さん。その背景にあるのは、大学卒業後に日本で多国籍の人々と共に働いた経験。また、その後の海外留学、留学先での起業を通じて約10年にわたり現地の人々と関わってきたことです。「この活動が、国籍やイメージだけで相手を判断するのではなく、まずは目の前の相手を知ろうとするきっかけになれば」と、思いを込めます。



▲こけしの絵付け体験の様子

一般社団法人  
国際交流倶楽部  
仙台ランチ

HP▶



## 活動を始める一歩を応援「コトハジメ」

### 仙台のスポーツを支えて楽しもう

ベガルタ仙台、東北楽天ゴールデンイーグルスなどのプロスポーツチームが熱戦を繰り広げる裏側では、会場運営などを支えるスポーツボランティアが活躍しています。スポーツボランティアの普及と支援に取り組む「せんだいスポーツボランティアステーション」では、毎年「中高生スポーツボランティア育成講座」を開催。座学と実践を通じて、スポーツ現場の運営の楽しさや難しさを体感できます。参加者は「大人のボランティアと

の関わりが楽しかった」「ちょっとしたおもてなしの工夫で来場者を笑顔にすることができた」と話します。担当の小磯正臣こいそまさとみさんは、「誰もが初心者です。一歩を踏み出す勇気があればチャレンジできます」と、育成講座への応募を呼び掛けています。



▲エコステーション活動



▲入場ゲートの受付対応

#### ●説明会(参加必須・7月25日締切)

日時:2026年7月30日(木) 16:00~18:00

場所:仙台市中小企業活性化センター セミナーホール(2)A

(仙台市青葉区中央1丁目3-1 AER6階)

対象:宮城県内の中学生・高校生(先着100名)

#### ●問合せ

せんだいスポーツボランティアステーション

Mail sports-volunteer@sendai-volu-station.com

育成講座の募集要項はHPから▶



## つながる つなげる サポセン

### 仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 7月8日(水)、22日(水)

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00

日曜日・祝日 9:00-18:00

休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日) 年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

[ホームページ] <https://sapo-sen.jp>

[サポセンブログ@仙台] <https://blog.canpan.info/fukkou/>

「ばれっと」バックナンバーは  
ホームページからダウンロードできます。



ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の様子やこぼれ話を配信しています。

#### 編集・発行

仙台市市民活動サポートセンター

(指定管理者: 特定非営利活動法人

せんだいみやぎNPOセンター)

発行日 2026年7月1日

デザイン PEACE Inc.

[ X ]

@SCSC4CA

[ YouTube ]

サポセンちゃんねる

